

そうしますと、1億円ぐらいかけて(設計図を)修正しているんだけど、納得できない人が減るどころか、逆に増えちゃうかも知れません。あるいはほとんど減らないかも知れません。その時はどうするんですか？

都市整備部参事

ご意見、ご要望が少なくなるように現在その修正をおこなっておりますので、そういう納得できない方が少なくなるような、そういう形の努力を現在しております。

鈴木

私は、どんなにお金をかけても、これ減らないんじゃないかと危惧しているわけです。

だとしたら、どこに間違いがあったのかと考えれば、やっぱり出発点にあったんですよ。このエリアを区画整理でやろうと思ったことがちょっと無理があっただけ、それが非現実的であったということです。この辺で気がついて引き返してくれないかと強く思うわけです。

市の案ですと平成33年に完了するという話ですけども、とてもじゃないがそんなことじゃ終わらない。これからずっと、市と住民がならみ合って、歩道も道もなかなか整備がすすまない。虫食いのように区画整理を進めたところがあるだけで、街全体としては全然統一がとれていないね、ということになってくるんだろうと思います。

稲城市では区画整理を中止しました。それはアンケートで半数以上が中止を求めたからです。「このままやっても町づくりはできない、お金もかかりすぎる」ということで。

羽村市も調査をやって、クールにリアルに分析をして、このまま行くのか、やめるのかと考える必要があると思うんです。

副市長

聞かせていただきましたけれども、多分に仮定の話が多いんです。今おこなっている作業を進めさせていただきたい。

355億円をかけておこなおうとしている羽村駅西口区画整理は住民に理解されず、このまますすめても一向にまちづくりは進まないことがうきぼりになったと思います。

ひき続き市をきびしく追及し、合意を前提としたまちづくり計画へと抜本的に見直しさせるようがんばります。

日本共産党羽村市議団

無料法律相談のお知らせ

9月8日(火)午前10時からです。事前に予約が必要です。お気軽にご連絡ください。

- ・ 中原まさゆき 554 - 1163
- ・ 市川英子 554 - 1140
- ・ 鈴木たくや 080 - 1058 - 9450